

1 はじめに

本校は小規模校であるということから、縦割り班活動などで縦の繋がりを大切にしている。また、4・5・6年生が委員会活動を行っており、その中でも計画運動委員会が中心となって、学校全体に関わる活動を行っている。

2 資料

(1) 1年生を迎える会（令和2年6月18日）

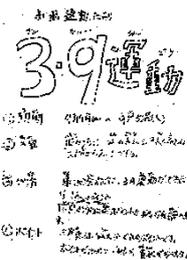
1年生の入学をみんなでお祝いし、学校の楽しさを知ってもらう会である。6年生と1年生が一緒に入場し、6年生から歓迎の言葉、4年生からメダルのプレゼント、1年生の自己紹介を行った。その後、年度初めての縦割り班遊びを行った。



今年度は感染症対策を行った上での行事にするために、場所や入場の仕方、活動内容などについて何度も話し合ったり、実践してみたりしながら具体的なイメージをもてるようにした。その結果、6年生を中心として児童が主体的に取り組むことができた。

(2) 「3・9運動」（令和2年9月9日～9月30日）

児童が自分から進んであいさつができるようになるために、「3・9運動～3人の大人と9人の子供に進んであいさつしよう～」を企画し、実施した。約1か月、各学年に合わせた目標を設定し、毎日12人にあいさつできたかを調べる取り組みは、効果が絶大で、校内に進んであいさつする明るい声が響いていた。また、目標達成できた学年には委員会の児童たちが賞状を作成し、全校朝会で表彰をした。



(3) その他の活動

ア 縦割り班遠足（かみね動物園）

イ 代表委員会（スローガンについての話し合い）



3 成果と課題

- ・計画・運動委員会の児童は、学校全体に関わる行事の企画・運営などを行うことで、活動への意欲が高まるとともに責任感が育った。今年度は、感染症対策を行った上での活動であったが、そこで改めて自分たちで行事のことを考えることができた。
- ・活動時間の確保において、常設されている委員会活動の時間のみでは足りないことがあり、休み時間を使うことが多かった。より計画を綿密に立て、改善できるようにしたい。
- ・児童たちが自主的に考え、実行していけるような意識付け及び支援が必要であると感じた。